

2020年3月15日付 韓国農林畜産食品部プレスリリース

## 春季 ASF 防疫、農場単位の防疫に全力

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbwWFmcmElMkY2OCUyRjMyMzI5MSUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRnJnc0VuZGRlU3RyJTNEJTI2YmJzT3BlbldyZFNlcSUzRCUyNnBhc3N3b3JkJTNEJTI2cGFnZSUzRDElMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnJvdUzRDEwJTl2YmJzQ2xTZXEIM0QlMjZzcmNoQ29sdW1uJTNEJTI2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNlJTl2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

□ASF 中央事故収拾本部(本部長キム・ヒョンス農林畜産食品部長官)は、ASF が家畜豚に伝播するのを防ぐため、農場単位の防疫強化方案を全力で推進する。

○野生イノシシにおける ASF は、今年に入ってから 300 件以上発生しており、坡州（パジュ）、漣川（ヨンチョン）、鉄原（チョルウォン）、華川（ファチョン）では、南東に向かって発生が拡大傾向にある(3月11日現在、合計 349 件)。

○また、検出地点周辺の水辺や土壌、捕獲・調査用の機器、車両等の環境中からもウイルスが 30 件検出された。

□3月からベクターの活動が活発になり、汚染地域である民間制限線内の農業が本格化すると、京畿道北部だけでなく、他の地域の養豚農場にも ASF ウイルスが伝播する可能性がある。

○欧州においても冬季に比べて春季と夏季に発生件数が増加している。人やベクター等の活動が増え、家畜豚への伝播可能性が高くなったものと推定される。

□中央事故収拾本部は、家畜伝染病の主な伝播原因であるベクターや車両、人によってウイルスが農場に侵入しないよう、農場単位の遮断防疫に全力で臨む。

○野生鳥獣類、ネズミ、ハエ等ベクターを通した農場への伝播を防ぐため、農場の穴や隙間を補修し、ネズミ捕り設置等、殺鼠・駆虫を継続し、全国すべての養豚農場のフェンス・野鳥遮断網等防疫設備を3月までに完備させることを目指す。

-また、農場周りに生石灰を幅 50cm 以上で散布し、野生動物忌避剤を農場の境界にまんべんなく使う。

○車両による伝播を遮断するために農場外部で使用したトラクター、耕運機等を農場内に搬入せず、外部車両は農場内へ進入できないようにする。

-農場内部進入車両と装備は毎日洗浄・消毒して管理する。

○人を通じてウイルスが豚舎に侵入しないよう、農場従事者の手洗い、長靴の履き替え等防疫基本規則を遵守し、前室を豚舎入口に設置する。

-原則、農場への外部の人の出入りを禁止し、農場関係者の狩猟活動と入山を禁止する。

□中央事故収拾本部は農場単位遮断防疫措置が迅速に履行されるよう、3月中の現場点検と広報を大幅強化する。

◇◇◇農場防疫現場の主な点検事項◇◇◇

1. (農場周辺)①生石灰ベルト構築、②フェンス・忌避剤設置、③農場に出入りする人・車両の消毒
2. (農場内部)①防鳥ネット設置、②周期的駆虫・殺鼠、③飼料タンクおよび堆肥場の清掃・消毒④農場内部消毒
3. (畜舎内部)①豚舎の防虫ネットの設置(換気口、豚舎出入り口等)、②前室設置、③豚舎専用長靴への履き替え、④豚舎内部消毒

○先にハンドン協会・畜産協同組合を中心に地域別養豚農家「団体疎通部屋」を開設し、農家の措置事項を写真等で共有可能にする。

-この取り組みを通じ、全国の農場で措置の成功例を共有し、不十分な点を補完する等、農家自ら農場遮断防疫に必要な措置を履行できるようにする。

○また、各地方自治体は養豚農家の施設基準と防疫基本規則遵守の有無に対する点検を持続的に実施する。

○農食品部は室長級以上が直接現場を訪問し、農場の防疫履行状況を点検して、不足部分を発見・補完する。

○4月からは中央・地方自治体合同点検を実施し、法令違反事項に対しては罰則の対象とする計画。

○ASF防疫規則遵守を広報するため、リーフレットを製作・配布し、外国人労働者を対象に17ヶ国言語に翻訳した防疫規則に関するメッセージを送付する等、教育・広報も大規模に実施する。

□中央事故収拾本部は、農場単位遮断防疫と共に野生イノシシのASF拡散を遮断し、全国的な防疫措置を強化する。

○野生イノシシの移動遮断のため、自然境界区間の広域フェンスを迅速に補強し、野生イノシシの死体搜索と捕獲によって、汚染源を除去し、野生イノシシ个体数を減少させる。

○汚染地域である野生イノシシ検出地点周辺の土壌と水辺、境界地域水路、道路等を徹底的に消毒し、全国の養豚農家がある村への進入路と主要道路に対する集中消毒を実施する。

○汚染リスクの高い地域に位置する農場周辺の野生動物糞便や堆肥場、と畜場等畜産施設に対する検査を強化する。

□農食品部食品産業政策室長は「たとえ 99%の農家と防疫機関が忠実に防疫規則を遵守しても、残った 1%が遵守しなければ、いつでも疾病が発生する可能性があり、莫大な社会的損失につながる」と述べたうえで、

○「現在も油断を許さない状況であることを認識し、遮断防疫に最善を尽くしてほしい」と呼び掛けた。

以上